

○日時：平成 26 年 11 月 21 日（金）午後 2 時～4 時

○場所：多治見市産業文化センター3 階中会議室

○出席者

（委員）今村光章会長、宮村登美子副会長、白井友則委員、齊藤英久委員、齋藤由美委員、土岐正典委員、稲垣信子委員、齋藤由美委員、坂崎誠子委員、堀裕一委員、山本博子委員、三田寺正恵委員

（委員代理）白石真美委員代理水野慶子主任児童委員

（欠席）伊藤威一郎委員、春田美和委員、加藤悦男委員、堀尾憲慈委員、高木貴代子委員、櫻井香好委員

（事務局）福祉部次長瀬瀬、子ども支援課長長江、保育園幼稚園グループリーダー杉村、子育て支援グループリーダー三品、井出、小久保

○議事

（1）多治見市子育て支援事業計画（案）について

（2）教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み・確保方策について

## 1. 議事

（1）多治見市子育て支援事業計画案について [事務局説明]

【今村会長】

「楽しく子育てできるまち」として、主に 2 つの論点があったかと思います。一つは子育て支援センター等子育て拠点施設の話、もう一つがこんにち赤ちゃん訪問事業です。

では、まず一つ目の子育て拠点施設について、ご意見、ご質問ありませんか。

【委員】

質問が 2 点あります。1 点目は、子育て支援拠点事業の実績において講義等を開催とありますが、目標に対して実績がどのようなものであるか教えてください。

2 点目は、自分が利用した際にいつ行っても先生がいないという状況で相談ができなかったことを経験したので、現在の状況についてお教えてください。

【事務局】

1 点目の質問については、資料の実績は前期分であるため、後期に実施する予定と考えられます。目標として、各センター 5 回以上を掲げております。目標が多いか少ないかは皆様にご意見をいただいて、今後の計画に反映したいと思います。

2 点目については、そういったことがないように、支援センターでは一時保育の臨時職員が常に動いていますので、緊急時にも対応できるようになっています。ただし、人数が重なってしまった場合や子育て支援センターを各園の中に設置している関係で、在園している子どもの状況を見ながら、配置した臨時職員も含めて園内対応をしていることもあります。

【今村会長】

駅北親子広場については、なにかご質問などないでしょうか。

【委員】

駅北親子広場は、どれくらいの規模で利用者はどの程度を見込まれるのでしょうか。

【事務局】

我々もまだ現場を確認できていない状況ですが、大きさはバレーボールコート的一半よりも大きいくらいとなっています。従来の一時的保育では、保育室や遊戯室を利用していましたが、新たな形で進めていきます。保健センターや教育委員会と同じフロアにありますので、子育て関連がこれまで以上に連携を深め、今まで以上のサポートができるのではないかと考えております。

**【今村会長】**

続いてこんにちは赤ちゃん訪問事業について、なにかご質問はないでしょうか。  
(～意見なし～)

**【今村会長】**

では、続いて何かご意見ありますか。

**【委員】**

発達支援委員会の支援とありますが、この委員会はどのようなメンバーで構成されているのでしょうか。また、学童の指導をされている方たちの質の向上について、どのように進めていくのかお聞かせ下さい。連携が進んでいる一方で、小学校に伝えた内容は学童には伝わっていなかったことがあり、悲しい思いをした親御さんがいました。

**【事務局】**

まず、発達支援委員会については、現在既に行われている委員会であり、これまで発達に支援が必要な児童がどこに行けばいいのかわからないという問題があったことを受けて、道案内の役割を担うために、発達支援センターの各施設長、ことばの教室の担当職員、子ども支援課、福祉課、保健センター職員といったメンバーを主軸として、月に一度会議を行っています。

学童の件については、小学校との連携が図られている状況に対して、学童への情報の流れが確立されていない状況です。保護者が悲しい思いをすることがないように、検討していきたいと思えます。また、小さいときから小中学校まで情報が共有できるように、子どもの様子や記録を記載したプロフィールブックを来年度から作成することを検討しています。

**【委員】**

障がい児の発達支援について、早期発見の努力はしていただいているのですが、待機になっている児童が多くいます。特に、発達支援センター「なかよし」に重度の発達支援者が多いため支援の終了がなく、次の児童の受け皿がないように思います。受け皿の拡大についてどのように考えていますか。

**【事務局】**

これからの計画の中で、待機が出ないような方策を検討していきたいと思えます。

**【委員】**

待機がでないように検討していただくことはありがたいことですが、発達相談の件数は増えてきています。公立だけでなく、私立の保育園等でも対応できるように体制を整え、また同時に現場にいる先生たちのスキルアップが必要かと思えますが、いかがでしょうか。

**【事務局】**

その通りだと思います。職員研修等は現在でも行っていますが、さらに質を上げるためにいろいろな方に研修に参加していただきたいと考えております。また、多治見市では集団の中で一緒になって育てていくという考え方を大切にしていますので、そちらも進めていきたいと思えます。

**【委員】**

待機が増えてきたことにより、重度のダウン症にも関わらず年中でことばの教室に移行した方がいます。個別療育からグループ療育に変わったことで、うまくいかなくなったという事例を聞きます。療育の質もあり、忙しいあまり対応が疎かになってきているように感じます。対応できる幅を増やし、かつ、支援員の方の教育をしっかりして欲しいということが希望です。

**【事務局】**

支援員の質の向上は、当然計画の中に入れていくべきものと考えています。待機の問題については、「なかよし」、「ひまわり」とともに定員は30人です。基本的に「なかよし」は重度、「ひまわり」は中度、「ことばの教室」は軽度のお子さんを対象に療育を行っています。重度よりも中度、中度よりも軽度のお子さんが相対数多いため、今後も「ひまわり」は定員が足りなくなることが想定されます。しかしながら、これまでも受け入れ人数を増やしてきた状況において新たに施設を増やすだけでは改善が図られないため、子どもの状況に応じて施設の役割を考えていく必要があり、今後は保育園、幼稚園の役割が非常に重要になると思います。

**【今村会長】**

課題は、ベテランの保育者を育てていくというのが難しい現状があるかと思います。経験者の方は、結婚、出産、親の介護等の理由からやめていってしまいます。人材の問題はどこでもつきまとう問題であり、新任の支援員は頼りにならないというのは、止むを得ないという一面もあります。これについては、NPO等の民間でできる部分があると思います。多治見市として、民間団体と連携・支援して人材を育成していくという方法も一つの案として参考にして下さい。

**【委員】**

保育園・幼稚園の担っていく部分が多いというお話がありましたが、ふれあい教室というものを補助事業で実施しています。障がいについては、生来持っているものなのか、親子のふれあいの中での経験不足によるものなのか、年齢が低いと判断がつかないことがあります。そのような中で、すぐに療育というのではなく、親子の関わりの中で改善されていくものが多くあると思っています。多治見市には、児童館もたくさんあります。療育が必要な場合もありますが、親子のコミュニケーションで変わっていく場合も実感していますので、親子の絆をつくることや、お母さんがしっかりと子どもをみれるような教室を展開できれば、不足している受け皿というものも改善できるのではないかと考えています。

**【事務局】**

市としても児童館をサポートの一つに出来ればと考えています。

**【委員】**

幼稚園・保育園に入るために医療行為が必要となる児童について、補助の先生を看護師にできないかという話が上がっています。受入が難しいということで、入園できない方も見えますので、ご検討下さい。

**【事務局】**

幼稚園・保育園では、医療行為の係るお子さんには看護師の配置が必要になりますので、現状お預かりはできません。ただ、すべてお断りしているというわけではなく、園でも相談に乗っておりますし、親の方にご協力をいただける場合であれば、ケースバイケースでお預かりすることもあります。発達支援委員会において事前に検討を行う場合もありますし、園長や担任が医療機関を訪問することや保護者や子どもと面談することもしています。出来る限り保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもの安全な保育環境の調整に努めていますのでよろしくお願い致します。

**【委員】**

児童館へ子どもの託児に行く機会がありますが、児童館では心配な児童について気が付いたら知らせるような体制は現在あります。

**【事務局】**

児童館を含め市内関係機関と連携を図り、情報共有に努めています。具体的には、衣服の乱れや行動に心配がある児童については、子ども支援課へ報告をいただいています。

**【今村会長】**

では続きまして、「子どもが豊かに育つまち」についてです。公園整備の視点が新しく入っています。何かご意見ありますか。

**【委員】**

先日、児童館の事業で親子散歩というイベントに参加し共栄公園へ行きました。とてもいいところだと思いました。しかし、遊具が安全基準を満たしていないため使用禁止となっていました。修理はどの機関が行うのでしょうか。せっかくのいい公園遊具であるため修繕を早期の修繕を期待します。

**【事務局】**

指定管理事業であり、一定程度の修繕は市が行う必要があります。他市を含め公園遊具の修繕は老朽化を一斉に迎えている状況であるため、優先順位を付けて取り組んでいる状況とと思われます。ご意見については担当部署に報告しておきます。

**【委員】**

計画の中で子どもを取り巻く有害環境対策の推進として、インターネットや携帯電話の利用の事業があります。PTA連合会においては、インターネットを活用した親子の関係づくりを進めていくことを予定していますので情報提供しておきます。

**【今村会長】**

では続きまして、「みんなで未来につなげるまち」について何かご意見ありますか。

**【委員】**

虐待についてですが、いきなり相談センターに連絡するのはハードルが高いため、児童館などで相談ができるということを一文入れていただくと助かります。

**【事務局】**

市役所の方が相談しやすいのであれば、市役所に相談してもいいというお話はさせていただいております。もっと身近な児童委員さんや児童館の職員さんにつないでいただくと、市にも情報が入ります。子ども支援課には家庭児童相談員が2名おり、要支援家庭という認識で関わるようにしています。強い介入をしていくというよりは、相談支援をしていくという考えでおります。

**【委員】**

人権擁護委員では、小学生以降を対象にいじめ等に関する「SOS」を受け付けています。

**【今村会長】**

すぐに通報するのではなく、みんなで子どもを見守るシステムができればいいかと思います。

さて、議事の1については、これで一通り済みしましたので、全体を通じて何か言い残した事などありましたら、お願いします。

**【委員】**

幼稚園・保育園で毎年行われていた、餅つき大会や流しそうめん大会が保健所の指導の関係上、どんどんなくなっていますが、こういう機会はとても大切だと思います。どうにかならないものではないでしょうか。

**【事務局】**

我々としても、こういった伝統的な行事ができなくなるのはおかしいということで、保健所に抗議に行きましたが、基本的には控えてほしいという回答でした。現実的に食中毒等の問題も出てきていますので、心配はありますが、出来れば続けていきたいという気持ちはあり、引き続きお願いはしていきたいと思っています。

**【今村会長】**

保護者の方の意向等もありますので、なかなか簡単に再開するのは難しいと思いますが、検討をお願いします。

**【委員】**

親子広場の開設日時が、月曜日から木曜日となっていますが、金曜日がないのには何か理由があるのでしょうか。

**【事務局】**

親子広場については、最低3日以上以上の開設が必要になっており、金曜日は保健センター、子ども支援課、教育委員会で事業を予定しています。その日以外を広場として使っていこうという考えです。

**【今村会長】**

よくあることで、候補の曜日を挙げておいて、それ以外の日はイベントや相談の日にしようということだと思います。

それでは、議事の2の教育保育及び地域子育て支援事業の量の見込み・確保方策について、まずは事務局から説明をお願いいたします。

**(2) 量の見込み・教育保育の確保方策について[事務局説明]**

**【今村会長】**

みなさんの意見を反映していただいて、学童について非常に詳細に資料をつくっていただきました。また、小学校を回って場所を確保していただいたということで、かなり私たちの意見を汲んでいただけていると思います。

まず、量の見込みについて、これ以上増やすというのも難しい話かと思いますが、何か意見等ありますでしょうか。

(～意見なし)

では、続いて教育保育の確保方策について、県に提出した資料の数値等で、何かお気づきになられたことがありましたらお願いします。

**【委員】**

幼稚園保育園の現場においては、既に平成27年度に向けた準備が始まっている所ですが、入

所受け付けの基準等で兄弟の優先入所があるのですが、年齢が離れているとその恩恵が受けられないことがあります。また、定員の関係から第3希望にも入れないということもあります。3号認定の児童の受入枠がプラスマイナス0になっていますが、本当に大丈夫なのかという不安があります。

職員は多いほどゆとりを持った対応ができますし、相談に来る方も忙しくされていると遠慮してしまう部分があると思いますので、そういう面ではゆとりを持った体制を期待します。

#### 【事務局】

小規模保育も平成28年～29年になってくれば制度が浸透していき、受入数も増えてきますし、平成29年ごろには1～2歳児童を公立の方でも受入ができるように施設の見直しをしています。これについては、平成31年度までの流れで見えていく必要がありますので、よろしくお願いいたします。

#### 【今村会長】

試算なので、なかなか見込み通りいかない部分もあるかと思いますが、計画としてはこういうことで進めていくということだと思います。

私としては、量はこれでいいとして、やはり質が大切になってくると思っています。結局、保育士さん等の力量によって、保育の質が変わってきますので、そこを多治見市でうまく保育士会や幼稚園教育の先生の勉強会等で育てていく必要があると思います。そのためにも、ゆとりを持って対応ができるような体制を整えていく必要がありますし、職員の待遇を改善をする必要もあるかと思っています。ベテランの方がいると心強いということで、そういった方を受け入れていく工夫も必要なのではと思っています。

では、続いて事務局から次回の日程についてご連絡をお願いします。

#### 【事務局】

次回の日程について [事務局説明]

- ・日時：2月5日の午前10時～12時
- ・場所：駅北庁舎 4階 第一会議室
- ・来年度以降も会議を実施予定

#### 【今村会長】

ありがとうございました。

今後も、ご無理のない範囲でご出席の程、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、“第4回多治見市子育て支援会議”を閉会致します。どうもありがとうございました。

以上